

諸外国の学校の役割と 教職員等指導体制の比較

国立教育政策研究所

初等中等教育研究部

藤原文雄総括研究官より提供

教職員の分業体制の見直し

業務	国名	アメリカ	イギリス	中国	シンガポール	フランス	ドイツ	日本	韓国
	登下校の時間の指導・見守り		×	×	×	×	×	×	△
欠席児童への連絡		×	×	○	○	×	○	○	○
朝のホームルーム		×	○	○	×	×	×	○	○
教材購入の発注・事務処理		×	×	△	×	×	×	△	×
成績情報管理		○	×	△	○	○	○	○	○
教材準備（印刷や物品の準備）		○	×	○	○	○	○	○	○
課題のある児童生徒への個別指導，補習指導		○	×	○	○	○	○	○	○
体験活動の運営・準備		○	×	○	○	○	○	○	○
給食・昼食時間の食育		×	×	×	×	×	×	○	○
休み時間の指導		○	×	○	△	×	○	○	○
校内清掃指導		×	×	○	×	×	×	○	○
運動会，文化祭など		○	○	○	○	×	○	○	○
運動会，文化祭などの運営・準備		○	○	○	○	×	○	○	○
進路指導・相談		△	○	○	○	×	○	○	○
健康・保健指導		×	×	○	○	○	○	△	○
問題行動を起こした児童生徒への指導		△	○	○	○	○	×	○	○
カウンセリング，心理的なケア		×	×	○	○	○	×	△	×
授業に含まれないクラブ活動・部活動の指導		△	×	○	△	×	△	○	△
児童会・生徒会指導		○	○	○	×	×	○	○	○
教室環境の整理，備品管理		○	×	△	○	○	○	○	○
校内巡視，安全点検		×	×	○	×	×	○	△	×
国や地方自治体の調査・統計への回答		×	×	△	×	×	○	△	×
文書の受付・保管		×	×	△	×	×	○	△	×
予算案の作成・執行		×	×	×	×	×	○	×	×
施設管理・点検・修繕		×	×	△	×	×	×	×	×
学納金の徴収		×	×	○	×	×	○	△	×
教師の出張に関する書類の作成		×	×	△	×	×	○	×	×
学校広報（ウェブサイト等）		×	×	△	×	×	○	○	×
児童生徒の転入・転出関係事務		×	×	○	×	×	×	△	×
外部対応業務		×	×	○	×	×	×	○	△
家庭訪問		×	×	○	×	×	×	○	△
地域行事への協力		○	○	△	×	○	×	△	△
地域のボランティアとの連絡調整		×	×	△	×	×	○	△	×
地域住民が参加した運営組織の運営		△	×	×	×	×	△	△	×

※教員の「担当とされているもの」に○を，「部分的にあるいは一部の教員が担当する場合があるもの」に△を，「担当ではないもの」に×を付けている。三か国以上の国で△又は×が選択されている業務をグレー表示している。全部で40業務設けたが，「出欠確認」，「授業」，「教材研究」，「体験活動」，「試験問題の作成，採点，評価」，「試験監督」，「避難訓練，学校安全指導」「出欠確認」，「授業」等全ての国で「担当とされているもの」7項目は掲載していない。

国立教育政策研究所『学校組織全体の総合力を高める教職員配置とマネジメントに関する調査研究報告書』（2017）

英国の学校指導体制改革を参考とした 今後のあり得る学校指導体制改革

対策の着手点	英国の取組	考えられる日本の取組	備考
(1) 全体の仕事に注目した対策	全勤務時間の漸進的な減少を目標とした勤務実態調査の実施，ワーク・ライフバランス条項の「教員給与及び勤務条件に関する文書」での規定	全勤務時間の漸進的な減少を目標とした勤務実態調査の実施，ワーク・ライフバランスの重視	全勤務時間の漸進的な減少の必要
(2) 指導の仕事に注目した対策	欠勤している同僚教員の補欠に入る時間の上限設定，サポートスタッフの配置，課外活動のための職員配置	部活動支援員の配置や地域学校協働本部の設置，小学校教科担任制	日本の教員の担当する指導領域の広さを是正し，教員以外の大人が子供に関わる体制を作る必要
(3) 指導計画・調整の仕事に注目した対策	勤務時間内の授業準備時間の確保，「教員がしなくてよい業務」の明確化，サポートスタッフの配置	小学校教科担任制，小学校生徒指導専任教員の配置，「教員がしなくてよい業務」の明確化，サポートスタッフの配置	勤務時間内の授業準備時間を確保し，調整担当の教員の配置による調整力の向上を図り，サポートスタッフとの分業体制を構築する必要
(4) 学校運営・事務の仕事に注目した対策	ICTの活用，マネジメントの变革，事務員の配置と事務長(スクール・ビジネス・マネジャー)の配置による管理職チームの機能強化	校長の役割の明確化，マネジメントの变革，副校長・教頭の職員指導力の向上，ICTの活用，事務補佐員の配置，事務職員の全校配置，事務長の配置，共同実施の促進	校長の役割を明確化，マネジメントの变革を行い，事務体制の整備を図り，校長補佐体制を強化する必要

* 英国では，1997年の労働党政権発足以降，教員の勤務負担軽減のための労働環境整備と教育水準の向上を図るための手段として学校職員（サポートスタッフ）の拡充整備による教員とサポートスタッフとの役割の再構築（Workforce Reform）を推進。

1998年2月に英国の教育雇用省が通知で示した「教員がしなくてよい業務」

(2) 指導の仕事

- ・ 教員の補充業務
- ・ 試験監督
- ・ 個別のアドバイスの提供

直接的教育活動

(3) 指導計画・調整の仕事

- ・ 欠席確認
- ・ 出席状況の分析
- ・ 試験の運営業務
- ・ 試験結果の分析
- ・ 大量の印刷
- ・ 文書作成
- ・ 標準的な通信文の作成
- ・ 記録とファイリング
- ・ 教室の掲示物の掲示
- ・ 児童生徒のレポートの整理
- ・ 職業体験学習の運営業務
- ・ 児童生徒データの管理
- ・ 児童生徒データの入力
- ・ 学級のリストの作成

間接的教育活動

(4) 学校運営・事務の仕事

- ・ 集金
- ・ コンピューター等のトラブル対応及び修繕
- ・ ICT機器の新設時の委託業務
- ・ 物品の注文
- ・ 物品の在庫管理
- ・ 物品の分類, 準備, 配布, 管理
- ・ 会議の議事録等の作成
- ・ 入札のコーディネートと文書提出

通学時の責任の分担



アメリカのA小学校のベル時刻

最初のベル	8時40分
玄関オープン	8時45分
二回目のベル	9時00分
下校	3時25分

子供は8時40分から8時45分の間に学校に到着し、学年別に整列して玄関のオープンを待つことになっています。学校は、8時40分から子供の安全確保のための監視を始めます。二回目のベルは授業開始のベルですが、これに遅れた場合には、児童は事務室を訪れ、遅刻証明書を得た後、教室に向かいます。さらに、9時10分を超えて登校する場合には、保護者が子供を事務室に連れて来なければなりません。アメリカの場合には、学校が子供の安全に責任を持つ時間が明確に定められています。

※オフィスアワーの設定あり

教育委員会の責任体制の確立

フランスのA小学校の時間割

時間	月	火	水	木	金
8:30~11:30	授業	授業	授業	授業	授業
11:30~13:30	昼食・昼休み	昼食・昼休み		昼食・昼休み	昼食・昼休み
13:30~15:30	授業	授業		授業	授業
15:30~16:30	授業	課外活動		課外活動	授業
16:30~18:00					

※授業と書かれているセルが「学校教育」。灰色で示されているセルが「学校周辺活動」。

【昼食・昼休みの風景】



【昼食・昼休みの責任者のオフィス】

